

「第7回まちづくり活動発表会」GWまとめ（たんぼぼの丘）

開催日時	2019年2月2日（土）14:40～16:00 SAYAKA ホール 大 会議室	記録	中西
参加者	中田（たんぼぼの丘）、岡田（まち研/環境）、浅野（まち研/環境）、小林（防犯ボランティアG）、長野（防犯）、青木（防犯）、木下（支援センター）、渡辺（狭山中円卓）、佐島（狭山中円卓）、澤田、有多（たんぼぼの丘）、中西（ファシリ）、針田（サブ）		
テーマ	地域とのつながりを広げるためには！		
目的	当施設は障がいの有無に関わらず、地域との繋がりを持ち、誰もが参加できる施設にしたいとのことで、参加者にいろいろな意見を述べてもらうことで、今後の取り組みの参考にする。		
意見内容	<p>1. 先ず施設を知ってもらおう！</p> <p>①「たんぼぼの丘」の施設の運営・活動状況を知ってもらうために、施設見学を実施する。</p> <p>②出前体験を実施する。（支援センター等の支援を受ける）</p> <p>③市民（団体含む）を対象に今、置かれている障がい者の実情や施設の必要性、一般市民を巻き込んでの活動等を知ってもらう機会をつくる。</p> <p>④地域（大阪狭山全域）との交流をつくるための地域プログラム作成、実行する。</p> <p>⑤障がい者の施設と関係（障がい施設以外の団体等）を築くためには、時間をかけながら交流を通じての努力が必要である。</p> <p>⑥垣根をなくするためには、一般の人が来てもらいやすい環境を図ることが大事である。</p> <p>※グループ名の中で、「たんぼぼの丘」の名称を聞いたことがある人は2名であった。</p> <p>2. 今まで知らなかった市民や団体等との繋がりを持つためには連携を構築しよう！</p> <p>①障がい施設とは特殊なところではない、みんなと一緒に楽しむことができるということを知ってもらう。</p> <p>②理解をしてもらい、口コミを通じて輪を広げる。</p> <p>③日々の活動を通じて、イベントや日常時に市民等を参加に巻き込む工夫をする。</p> <p>④むかし遊びを施設の中で採り入れ、みんなと楽しく過ごすことで、繋がりができる。</p> <p>⑤障がい者と一般の方とのコミュニケーションづくりを施設側が積極的に企画する。</p> <p>⑥個人の訪問より、まず団体との交流或は他団体行事への参加を増やす。</p> <p>参加時の交通等の支援を募るなどの工夫を考える。</p> <p>⑦作業（一緒に作業）などの支援をするための機会づくりを行なう。</p> <p>⑧要請できそうな仕事があれば積極的に行う。</p> <p>⑨他団体、関係機関との共催事業を行うことも検討する。</p> <p>⑩近所や他地域に対し、顔合わせできる機会をプログラムとして構築する。</p>		